



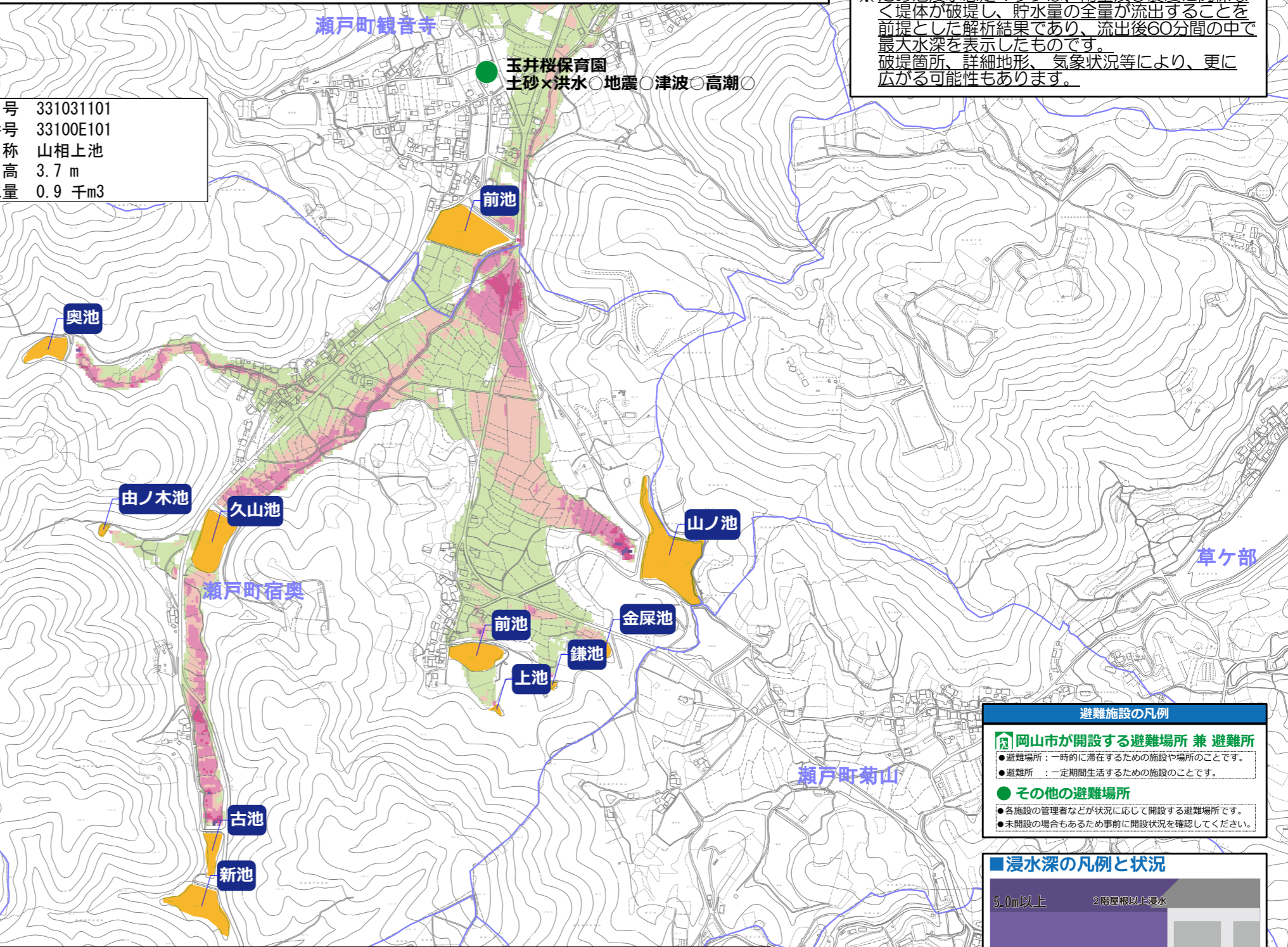
令和5年度 松尾池 (1031034) →山田池 (1031035) →奥池 (1031039)  
 →由ノ木池 (1031040) →古池 (1031042) +新池 (1031043) →上池 (1031045)  
 →金屎池 (1031046) →鎌池 (1031047) →山ノ池 (1031048)  
 →山相上池 (1031101) →前池 (1031044) →久山池 (1031041) →前池 (1031038)  
 →山相池 (1031032) →皿池 (1031031) 浸水想定マップ

【ため池浸水想定マップ】  
 ため池は農業用水の供給等の多面的機能を持っています。一方で地震や豪雨の発生により、決壊すると大きな災害につながる危険性も併せ持っています。そこで、ため池決壊被害の軽減、防災意識の向上を目的として「ため池浸水想定マップ」を一定規模のため池毎に作成しました。日頃からため池災害に備え、避難ルートを確認するなど迅速な避難や災害対応の基礎資料\*として活用していただければと考えています。  
 \*ため池浸水想定マップは、雨量及び震度に関係なく堤体が破壊し、貯水量の全量が流出することを前提とした解析結果であり、流出後60分間の中で最大水深を表示したものです。破堤箇所、詳細地形、気象状況等により、更に広がる可能性もあります。

ため池諸元	
番号 331031031 旧番号 33100E031 名称 皿池 堤高 2.9 m 貯水量 7.8 千m3	番号 331031042 旧番号 33100E042 名称 古池 堤高 6.0 m 貯水量 5.3 千m3
番号 331031032 旧番号 33100E032 名称 山相池 堤高 3.5 m 貯水量 3.5 千m3	番号 331031043 旧番号 33100E043 名称 新池 堤高 8.4 m 貯水量 18.9 千m3
番号 331031034 旧番号 33100E034 名称 松尾池 堤高 3.0 m 貯水量 0.7 千m3	番号 331031044 旧番号 33100E044 名称 前池 堤高 4.9 m 貯水量 9.1 千m3
番号 331031035 旧番号 33100E035 名称 山田池 堤高 6.0 m 貯水量 0.4 千m3	番号 331031045 旧番号 33100E045 名称 上池 堤高 4.1 m 貯水量 0.5 千m3
番号 331031038 旧番号 33100E038 名称 前池 堤高 4.1 m 貯水量 12.4 千m3	番号 331031046 旧番号 33100E046 名称 金屎池 堤高 8.4 m 貯水量 0.9 千m3
番号 331031039 旧番号 33100E039 名称 奥池 堤高 7.0 m 貯水量 7.2 千m3	番号 331031047 旧番号 33100E047 名称 鎌池 堤高 2.5 m 貯水量 0.2 千m3
番号 331031040 旧番号 33100E040 名称 由ノ木池 堤高 3.2 m 貯水量 0.3 千m3	番号 331031048 旧番号 33100E048 名称 山ノ池 堤高 7.5 m 貯水量 48.7 千m3
番号 331031041 旧番号 33100E041 名称 久山池 堤高 4.9 m 貯水量 12.7 千m3	

番号 331031101 旧番号 33100E101 名称 山相上池 堤高 3.7 m 貯水量 0.9 千m3
---

番号 331031101 旧番号 33100E101 名称 山相上池 堤高 3.7 m 貯水量 0.9 千m3
---



特に注意すべきため池状況のポイント

【大雨時】  
 ○急激な水位上昇により、流水が堤体を超えようとする場合  
 ○漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合  
 ○堤体が陥没し、漏水が生じた場合

【地震時】  
 ○堤体に陥没やひび割れが発生し、漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合

避難施設の凡例

■岡山市が開設する避難場所兼避難所  
 ●避難場所：一時的に滞在するための施設や場所のことです。  
 ●避難所：一定期間生活するための施設のことです。

●その他の避難場所  
 ●各施設の管理者などが状況に応じて開設する避難場所です。  
 ●未開設の場合もあるため事前に開設状況を確認してください。

浸水深の凡例と状況

5.0m以上	2階屋根以上浸水
3.0m～5.0m未満	2階軒下まで浸水
2.0m～3.0m未満	2階床下まで浸水
1.0m～2.0m未満	1階軒下まで浸水
0.5m～1.0m未満	床上浸水
0.5m未満	1階床下まで浸水

